

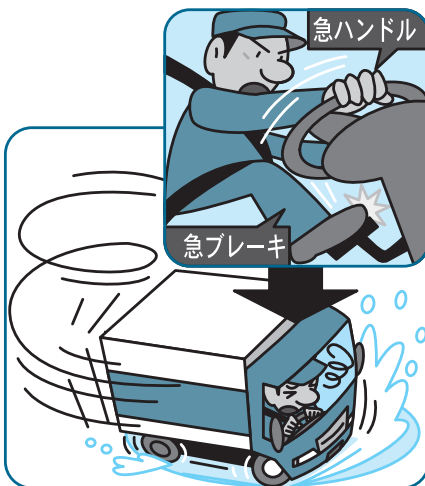


降雪時・積雪時の危険への配慮



◆交差点手前はとくに滑りやすい

雪の積もった交差点手前では、発進と停止の繰り返しで雪が踏み固められて、とても滑りやすくなっています。そのため交差点手前で停止できずに赤信号で交差点に進入してしまったり、赤信号で停止している車に追突するという事故が発生しやすくなります。とくに信号の変わり目が要注意です。信号が黄色に変わったとき、乾燥路面であれば交差点手前で停止できる距離であっても、積雪路面の場合には停止できないからです。積雪時に乾燥路面と同じ感覚で交差点に接近するのは大変危険です。



◆「急」のつく運転をするとスリップする

交差点の手前でなんとか停止しようとしてブレーキを強く踏み込むと、スリップしたりスピンして、さらに危険が大きくなります。トレーラの場合は、ジャックナイフ現象やスイング現象が発生するおそれもあります。積雪路面を走行するときは、交差点付近やカーブはもちろんのこと、直線道路であっても急ブレーキや急ハンドル、急発進、急加速などの「急」のつく運転は、スリップなどの大きな原因となります。ABS機能のないトラックを運転しているときは、ポンピングブレーキを活用するなど、運転操作には細心の注意を払いましょう。

